



鞠の浦学園だより



No.19
2021年(令和3年)1月19日

「おくのほそ道」推薦文 ～9年生，本当にありがとう！～

明日，暦では大寒のようですが1月も後半に入ります。

9年生は私学の入試が始まり，緊張感のある毎日を過ごしています。体調管理には十分に気を付け，乗り切ってほしいと願っています。

先日，学園会から校内放送で「体調や気候に合わせてジャンパーやズボンを着てきましょう。どんな服装が良いかはクラスで考えてみてください。」という提案がありました。ある女の子は「長ズボンは暖かくて良い。」と今朝も元気に登校してきました。

3年生の話し合いでは，学校は勉強する場所で家とは違うとか，制服で気持ちを切り替えている，派手な服装や目立つ色は，気になったり集中できなかったりする等の意見もあったようです。

互いに考えを出し合い，自分と違う思いに出会うことは大切です。友達の意見がもっと良いと思えることもあるでしょう。学級や学校では，安心して意見を出し合うことが出来る積み重ねが成長につながります。

ところで，9年生から「おくのほそ道」推薦文を受け取りました。国語の授業で「奥の細道」を学習し，自分達の生活とつながる俳句を選び，私に読書を進める推薦文を書いたようです。1つ紹介します。

・・・「おくのほそ道」の魅力は，松尾芭蕉の見たこと，感じたことが細かく書かれているところです。ここで，松尾芭蕉の旅に対する気持ちが分かる部分を紹介します。

「日々旅にして旅をすみかとする。」

ここから，松尾芭蕉がどれだけ旅に人生をかけているかが分かります。私たちも何か一つのことを全力で取り組んで，最後までやり切れるようにがんばっていきます。松尾芭蕉自身が実際に見たことや感じたこと，見る事ができなくても想像したことなどが魅力的な文で表現されている「おくのほそ道」を，ぜひ読んでみてください。



さっそく，図書館で「おくのほそ道」の本を見つけました。150日間で600里(約2400km)の旅をしたと書かれており驚きました。図書館にはたくさん本があり，休憩時間になると子ども達は楽しそうに本を探したり，読んだりしています。

本から改めて学ぶことが出来ました。9年生，本当にありがとう！

GIGAスクール構想の実現に向けて ～いつでも，どこでも，自分に合った学びを～

福山市では，文部科学省の「GIGA スクール構想の実現」や「学びの保障」の観点に基づいて，4月より家庭への持ち帰り・使用もできるように，全児童生徒に対する一人一台端末整備を進めています。

本学園でも，算数や数学の授業でオンライン教材「キュビナ」を活用して，個人の学習速度や習得度等に応じた学習を進めています。また，クラスルームを活用した様々な情報の発信・共有の取組や遠隔会議等のコミュニケーションツールを活用した取組も進めています。

20日から予定している授業参観後の学級懇談会で，一人一台端末(Chromebook)の活用について，資料をもとに取組内容や今後の予定等を説明します。



一人一人が自分に合った内容を選んで学習。(4年算数)



前の学年や次の学年の内容にも取り組めます。(7年数学)



子ども達一人一人の学習内容や反応を教員が確認します。



井田小交流も今年はリモートで行っています。(6年生)



タイムリーな話題が動画配信できます。(8年修学旅行)



教職員も，リモートでの会議や研修を行っています。

今後，GIGA スクール構想の実現によって子ども達の学びはどんどん広がっていくと期待できます。しかし，端末を使いこなすことが目的ではありません。学校では，端末の良さを生かしながら，子ども達一人一人の興味や関心，学習意欲や学び方を大切に取組を進めていきます。



子ども達の学習や活動の様子については，本学園ホームページのトピックスやクラスルーム「学園生活を紹介」で見ることができます。ぜひ，ご覧ください。